教科目名　保健・体育　(Health & Physical Education)

学科名・学年　：　全学科　2年

単位数など　：　必修　2単位　（前期1コマ，後期1コマ，学習保証時間42時間）

担当教員　：　大庭恵一，川内谷一志，古沢里司（全クラス担当）

授業の概要

スポーツテスト（運動能力テスト・体力診断テスト）を実施して，個人の体力を把握させる．
スポーツテストに含まれる運動技能を個人技能（陸上競技，水泳），対人的技能（ソフトテニス，卓球，柔道），集団的技能（バレーボール，サッカー，バスケットボール）の各種目を，全体技能（ゲーム）が遂行可能となるように行う．
保健学習では，「現代社会と健康」「社会生活と健康」に重点をおいて学習する．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標（A1）（B1）**

(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする．（ゲームと記録）
(2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し，ゲームを楽しむことができるようにする．（ゲーム）
(3) 保健学習で行った内容を正確に理解する．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1-3	1．バレーボール	個人技能の習得．男女混合チームもあり，班編成に留意する．審判法の確認．	【理解の度合い】
4,5	2．スポーツテスト	｛運動能力テスト（４種目），体力診断テスト（４種目）｝を正確に測定する．	
6-9	3-1．ソフトボール（男子） 3-2．ソフトテニス（女子）	ゲームによる技能の向上と審判法の習得． ストローク，サーブなどの個人技能の習得．	
10,11	4．水泳	遠泳に重点を置いたクロール，平泳ぎの習得．	
12,13	5．保健	「喫煙，飲酒および薬物乱用と健康」を重点に学習する．	
14	前期期末試験	筆記による保健のテストを行う．	【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説	保健テストの解答と解説を行う．	
15,16	6．陸上競技	ハードルの基本技能を習得し，80mハードルのタイムを測定する．女子はハードルを低くして指導する．	【理解の度合い】
17-20	7-1．サッカー（男子） 7-2．ソフトテニス（女子）	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法の習得． 前期の個人の技能をさらに向上させ，ダブルスのゲームを学習する．	
21,22	8．柔道	個人技能の習得．約束練習や簡易試合を行い，ルール・審判法の習得．	
23-25	9．バスケットボール	個人技能の習得．ゲームによるルール・審判法の習得．	
26,27	10．保健	「交通事故およびその予防策」「集団の健康」について学習する．	
28	後期期末試験	筆記による保健のテストを行う．	【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説	保健のテストの解答と解説を行う．	

履修上の注意	授業は時間厳守とする．	【総合達成度】
教科書	高石昌弘，　小沢治夫ほか，「現代保健体育」，大修館．	
参考図書	麻生紘二，　阿部哲也ほか，「最新スポーツルール」，大修館．	
関連科目	保健・体育（1年,3年）	
総合評価	達成目標の(1)から(3)について実技と試験で評価する． 総合評価＝0.8×（授業で行った各種目の実技点の平均)＋0.2×(保健テスト点) ＊総合評価は，前期評価と後期評価を平均して評価する． ＊授業態度により，評価点からその20%を上限として減点を行う． 総合評価60点以上を合格とする．	【総合評価】　　点